

令和 7 年度第 7 回都市経営会議 令和 7 年（2025 年）8 月 18 日（月）開催

1 令和 7 年度補正予算について

【提 案】 企画経営部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 補正予算一覧のNo.2 に、一般寄附金が約 2,400 万円減とあるが、これは何か。
- ⇒ 日本中央競馬会（JRA）から交付される環境整備事業費が見込みより減となったものである。昨年は競馬場でリニューアル工事が行われており、施設が開放されていない期間があったことなどが影響している。

2 公の施設（宝塚市立西谷児童館及び宝塚市立地域利用施設西谷会館）の指定管理者の指定について

【提 案】 市民交流部・子ども未来部

【結 果】 承認

【質疑等】 なし

3 宝塚市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【提 案】 総務部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 障碍児に関する補装具費支給制度の所得制限の撤廃に関して、実務的には所得制限が撤廃された状態で事務ができるよう準備されていたが、条例改正だけが今年度になったということか。
- ⇒ そのとおりである。
- ・ 本来ならば業務上の法律が変わった際に、関係する条例も改正しなければならない。そこは注意しておかなければならない。
- ⇒ 各部署で適正に対応していく必要があるが、マイナンバー制度における標準化については、国がこれまで共通基準でなかったものを標準化システムの中に位置付けるという流れの中で全国的に疑義照会があったことから、これに関して各自治体の条例で定めるよう通知があり、今回改正しようとするものである。

4 公の施設（宝塚市立国際・文化センター）の指定管理者の指定について

【提 案】 産業文化部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 宝塚市立国際・文化センター指定管理者選定委員会からの答申の「4 選定に当たって」の項目に、「(3) 当該団体が、外国人市民をサポートする最前線に置かれている現状を踏まえ、外国人市民の人権保障という点から、同団体が負うべき責務を超える事案については宝塚市と積極的に情報共有し、市の長期的なビジョンに資するよう努めること。」とあるが、これは何を意図したものなのか。選定委員会としての意図を教えてください。

⇒ 国際・文化センターでは、外国人市民の方が日本に溶け込むきっかけづくりとして日本語学習や生活相談などを行っている。「同団体が負うべき責務」に関して選定委員会委員がおっしゃられたのは、この「生活相談」に関することがメインである。

生活相談はボランティアに対応いただいているが、中には十分な語学力に加えて司法書士などの資格を持った方もおり、(特)宝塚市国際交流協会はボランティアと協力しながら相談対応を行っている。

生活相談業務に当たっての理想は複数の相談事を 1 つの窓口でまとめて受け付けるワンストップ対応ができることだが、やはり限界もある。そのような場合には、必要に応じて専門機関へ繋ぎ、上手く意思疎通が図られるよう、協会にサポートをお願いしているところである。

なお、生活相談で寄せられた内容については毎月市へ報告いただいております。随時、協会のみで対応に苦慮するものについては協会と市とで協力しながら対応を行っている。過去、ヨーロッパの紛争地から避難民がお越しになられた際には、文化政策課の職員が市役所での手続を補助したこともあった。決して協会やボランティア任せにしているわけではない。

とはいえ、協会やボランティアが様々な対応をしていることを市も把握した上で、今後の施策展開に生かしてほしいという趣旨でのご意見であると理解している。

5 宝塚市学校給食の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【提 案】 管理部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 給食費に関しては、これまで市議会から様々なご意見をいただいていたところである。条例から規則に変更するに当たり、市議会への説明はどのように行う予定か。

⇒ 給食費の単価に関しては、予算において、1食当たり何円というのを市議会に諮っていくことになる。加えて、給食の場合はサービスの受益者が子どもたちであることから、今後もしっかりと子どもたちや保護者の意見を聞き、それを反映した学校給食にすることによって、市議会に対しても十分な説明責任を果たしていきたい。

- ・ 手数料や使用料の改定は 12 月議会への提案を目指しているが、この条例は 9 月に提案予定か。

⇒ 9月に提案予定である。次年度以降どうするかについては、9月議会で議決が得られれば、速やかに保護者への周知と併せてアンケート調査を実施する。その結果を踏まえて令和8年度以降の対応を考えていきたい。

- ・ 物価が下がった場合はどうなるのか。

⇒ 今のところ物価上昇が続く見込みである。

6 宝塚市制70周年記念事業報告書について（報告）

【報告】 企画経営部

【質疑等】

- ・ 過去、市議会からは、財政が厳しい時にこれだけの事業費を投じることへの意見があった。市民からの声や評価はどこかに入れないか。市民目線で事業の良さが語られ、次に続くような要素があればよい。単に事業報告だけなら、通常のイベントの実施報告と同様に受け取られてしまうのではないか。

⇒ 内部でも様々な検討をしたが、事業報告のみとする形で整理させていただいた。

7 令和7年（2025年）3月市議会、6月市議会における議員からの要望等について（報告）

【報告】 企画経営部

【質疑等】 なし

8 宝塚市行財政経営方針 改訂版(案)に係るパブリック・コメントの実施結果について（報告）

【報告】 総務部

【質疑等】 なし

9 宝塚市公共施設（建物施設）保有量最適化方針の取組状況について（報告）

【報告】 都市整備部

【質疑等】

- ・ 現在、市の公共施設等総合管理計画の見直しを行っている最中だと思うが、計画の見直し後、最適化方針の位置付けはどうなるのか。

⇒ 公共施設等総合管理計画の見直しと合わせて、全公共施設を対象とした再編計画を策定中である。策定が完了すれば、最適化方針は再編計画の中へ移行される予定である。